

“食と観光の連携”菜の花観光につながる地サイダー

企業概要

有限会社すぎやま

- 業種：小売業
- 従業員：5人
- 資本金：500万円
- 創業：平成元年
- 住所：青森県上北郡横浜町大豆田127
- 主商品：ドライブイン、コンビニエンスストア、お土産品等販売



企業の概要・課題

■企業の概要

青森県横浜町でドライブイン、コンビニエンスストアを経営。ナマコやホタテの通信販売、加工品（土産品）の開発にも長年にわたって継続的に取り組んでいる。代表は横浜町の観光協会会長を努める。

■課題

全国的に果汁等の地域特産品を配合した「地サイダー」が流行、観光との連携が進んでいるが、青森県内には「地サイダー」の製造拠点がなかったことからほとんど存在せず、製造ができなかった。

■きっかけ

八戸製氷冷蔵（八戸市）にサイダー製造専用ラインが設置されたことから、これを地域の各事業者が活用した青森県の「地サイダー」の拡大を図ることとなり、横浜町名産の「菜の花」をテーマに「地サイダー」を製造することとなった。

よろずのサポート・実践

■ポイント1

素材には「菜の花」ではなく、飲料として魅力的な「菜の花はちみつ」を提案、当社、八戸製氷冷蔵とレシピ開発を依頼した青森県産業技術センターの三者を円滑にコーディネートした。

■ポイント2

プロのデザイナーを活用して「地サイダー」としての商品力を高めた。

成果

青森県内初の地域特産品を加えた「地サイダー」としてデビュー、10,000本／年程度の販売を継続している。

「菜の花フェスティバル」等のイベントでの販売が非常に好調となっている。

コーディネーターのコメント

「地サイダー」は食と観光の連携が図れる代表的な加工品。地域のPRに繋がることを期待するとともに、更に様々な加工品の開発を目指して欲しい。



加藤CCO

事業者の声

特産品「菜の花」がとれない時期に対応する土産品がなかったが、目玉となる商品ができ売上拡大に繋がった。事業計画、価格設定のついでのアドバイスがとても役立った。2020年秋より、イオン下田、藤崎でも取り扱う事になり現在も販路拡大中。